

# 2021 年度第 3 回ルール委員会議事録

開催日時：2022年3月6日（日）10：00～16：00

開催場所：オンラインミーティング（TEAM S）

参加者：増田委員長、大村副委員長、加藤副委員長、木内委員、日下部委員、柴沼委員、高野委員、佐藤委員、富田委員、中野委員、浅田委員、川北顧問委員、山口委員、木内委員、稲葉委員、岡島委員、岡部委員、渡辺（勝）委員 三輪（記）  
計 19 名 ※順不同

## 記

### 0. 開会挨拶

開会にあたって、増田委員長より下記の挨拶があった、

この 2 年間委員会全てオンライン開催となってしまった。コロナ禍であっても委員会の活動は活発に行えたのではないかと。2 年間のご努力に感謝する。

### 1. <審議>NJNU 規定改定（加藤副委員長）

NJNU 規程の改定について次のとおり提案され審議された。

#### 1.1. NJNU 規程第 6 条（認定試験合格の有効期限）

（改定案）

○現行：第 6 条（1）及び（3）の⑥、（2）には該当する規定なし

「⑥ 認定講習を受講して認定試験には合格したが、その他の要件を満たさない場合には、講習および試験の合格は 1 年間有効とする。ただし、認定時と同じ版の R R S である場合に限る」

○改定案：第 6 条（1）（2）（3）に次のとおり規定する。

「⑥ 認定講習を受講して認定試験には合格したが、その他の要件を満たさない場合には、講習および試験の合格は次の R R S 改定まで有効とする。」

（改定理由）

A 級ジャッジ及びアンパイアには 1 年の試験合格の有効期限があるが、B 級ジャッジには有効期限が無い。期限が無いというのは永久に有効と解釈することができるため、改善の必要がある。

#### 1.2. NJB 新規認定時のジャッジ経験

（提案内容）

現行の B 級ジャッジ新規認定時の資格要件となっている規程第 5 条の「審判実務経験」の「ジャッジ等経験を適切に有すること」を「ジャッジ経験を適切に有すること」に、施行細則 1（1）「過去 2 年間で 3 回以上の運営／ジャッジ補助等」を「過去 2 年間で 3 回以上」に変更する

（改定理由）

- ・NJNU 規程に定められているジャッジの役割や職務、またその背後にある JSAF がジャッジに求める資質とは無関係といえそうな実績（レース運営経験）を有することを、B 級ジャッジの認定要件としている不適切な状態を改善したい。
- ・ジャッジ補助が何を示しているか不明確。

#### 【審議結果】

一般的に「ジャッジ」は審問を行うプロテスト委員、「ジャッジ補助等」はセクレタリー、事務局、42 条のオブザーバーを指しているものと思われるので、「ジャッジ補助等」が指すものを明確にしたうえで、「ジャッジ補助等」は残すべきとの意見を受け、次のと

おり修正提案。18名/19名の賛成により、修正提案が承認可決された。

【修正提案内容】

○NJNU 規程第 5 条

「

資格要件	B級ジャッジ	A級ジャッジ	ナショナル・アンパイア
審判実務経験 (過去2年間)	ジャッジ等経験を適切に有すること	ジャッジ/アンパイア経験を適切に有すること	

○NJNU 規程細則 1 (ジャッジ経験)

「(1) 所属する団体や連盟が主催または共催するレースにおいて、下記の通りの経験があること。

	B級ジャッジ	A級ジャッジ
認定時	過去2年間で 2回以上の運営ジャッジ/ ジャッジ補助等	過去2年間で5回以上

※ジャッジ補助等とは、大会のプロテスト委員会における、プロテスト委員（審問を行う役割のメンバー）以外のメンバー（例：セクレタリー、事務局、RRS42 のオブザーバー等）を指す。

2. <協議>2022World Sailing 年次総会への RRS 改訂提案

2.1. 付則 LG の SI16.3、規則 A6.1、規則 A4 (増田委員長)

以下の3件の RRS 改訂を JSAF として 2022 Worlds Sailing Annual Conference に提案 (Submission) することについて協議された。

①付則 LG の SI 16.3 (TLE の記述が不明瞭な点の改善)

②規則 A6.1 または規則 28.1 及び規則 A10 (NSC と記録された艇の後にフィニッシュした艇の順位が繰り上げとなるよう改善提案)・・・2023.1.1 緊急改定の提案

③規則 A4 (NSC と記録された艇についての A4 と A5.1 間の矛盾の改善)

・いずれも WS へ提案することについて異議は無かった。

・今後の進め方については、国際委員会に早急に相談し、スケジュールを確認し、6月開催予定の次回ルール委員会に間に合わない場合は、メール等にて審議することが想定されるとの説明がなされた。

2.2. RRS 付則 H (衣類と装備の計量) の改訂 (柴沼委員)

RRS50.1(b)違反が

・付則 H 違反が TOKYO2020 オリンピックで発生。D P 対象外となっていると思われるが、D P 対象となっているクラス規則違反と比べて著しくバランスが悪い。

・1回目の違反について、超過重量に応じてSCPの度合いを定め、軽微な違反について失格よりも軽減し、2回目はDNEなどとする「特別のペナルティー」を課すようにしてはどうか。

・50.1(b)をDP対象としても現状の問題点は改善されるのではないか。

・提案内容をどちらかに絞るのではなく、併記してどちらかを採用するよう提案するのがよいのではないか。

→2.1と同様に進めていくこととされた。

3. <報告>NJNU 資格要件緩和措置 WG 報告（藤井 W G 長欠席のため加藤副委員長）
- ・これまでの経緯と 12 月 RRC 以降に追加緩和措置について、ホームページにて公表すると共に、A 級ジャッジ・ルール関係代表者メーリングリストで配信したことなどの報告がなされた。
  - ・今後、緩和措置対象者に、個別に連絡してフォローアップすることを検討していく。
  - ・（質問） B 級ジャッジ取得者のメール・アドレスの把握は？  
→ルールのお店にて事前把握完了済み。よって個別連絡は可能。
4. <報告>小委員会活動報告・計画
- 4.1. ジャッジ小委員会（石川小委員長欠席・浅田委員報告）
- 次のとおり報告された。
- ・4月23 - 24日 A 級ジャッジセミナー（小樽にて実施予定）
  - ・ジャッジマニュアル1次翻訳完了し、校正作業中。
  - ・カイトボード カイトボードはかなり速い。カイトはカイトなりのジャッジングのポジション等が必要。
- 4.2 IJIU 育成小委員会（前園小委員長急きょ欠席につき加藤副委員長報告）
- ・今年度の活動状況について、コロナの影響により、大会の開催及び海外渡航が困難な状況にあるため、全般に停滞気味との報告がなされた。
- 4.3. 外洋規則小委員会（日下部小委員長）
- 次のとおり報告された。
- ・外洋レース、クルーザーレース（以下「外洋艇レース」）関係規則情報を主催者、選手、運営等関係者に適時周知をすると共にレース現場関係者と交流を通じて互恵関係を促進する。
  - ・Web 掲載規則解釈について  
「ルール解説など」内に、新たに「◆外洋レース艇に関係する主な規則の動向」の項目を設け、PDF ファイルへの LINK を表示。
  - ・OSR の変更について
- 4.4. 規程管理小委員会（木内小委員長）
- 次のとおり報告された。
- ・RRS 現在増刷中 WS 正誤表 6 まで含める。
  - ・カイトルールの翻訳未着手。オリンピックではカイトボードのリレー種目は行われないのではないのか。
- 4.5. 普及小委員会（吉本小委員長代理 増田委員長）
- 次のとおり報告、質疑が行われた。
- ・選手・指導者向けルール講習会については、対面の講習会希望が多い。
  - ・開催地の固定化が課題（新たな開催地の開拓を検討する）
  - ・オンラインのルール講習会は現在無料で実施している。加盟団体経由の依頼なので加盟団体への一部費用負担のお願いを検討した方がいいのではないのか  
→今後検討課題としたい。
- 4.6. アンパイア小委員会（代理 加藤副委員長）
- NU 資格の更新状況や、アンパイア制レースについて報告された。

## 5. ケース研究

### 5.1 続：藻取り棒と RRS64.4(b) (増田委員)

ある大会で「藻取り棒」について、RRS64.4(b)に基づくクラス協会へ照会した事例について報告され、質疑が行われた。

### 5.2. RRS50.1b 競技者の衣類と装備 (増田委員)

ある大会で RRS50.1b 違反で複数の艇が失格となったケースの概要が説明され、質疑が行われた。

### 5.3. 規則 42 違反と規則 69 (浅田委員)

ある大会で規則 42 違反に関して規則 69 違反が認定されたケースの概要などの説明があり、質疑が行われた。

## 6. その他

### 6.1. <報告>2022 年度事業計画 (増田委員長)

2022 年度の事業計画について説明。

質疑・意見は次のとおり。

→アンパイア制フリートレース新たに 7 大学戦 仙台で実施？

→ジャッジ試験 オンライン可能 B 級ではすでに実施 シーズン前に受験機会の創設

→女性の登用はルール委員会として 育成 登用 の施策を (要望)

産休・育休などの制度 ジャッジの中でのジェンダーも今後考えていく。

### 6.2. <報告>事務局からの報告

ルールブック等書籍類、アプリの販売数とジャッジ・アンパイアの資格保有者が報告された。次回以降、男女比や年齢構成が分かるように報告資料を改善したい。

## 7. 閉会の挨拶

大村副委員長より閉会の挨拶が行われた。

以上